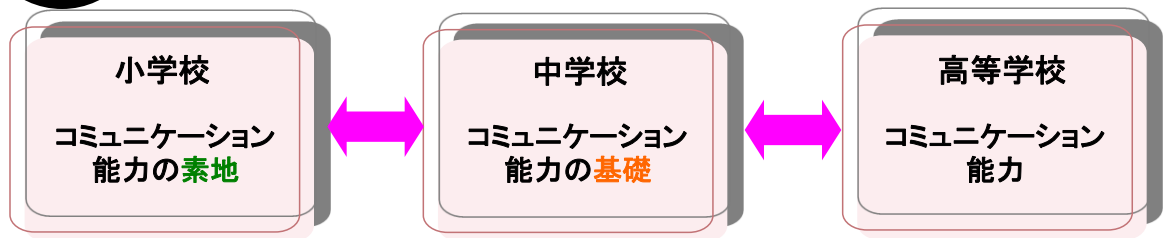


言語活動の充実を通して、児童生徒にコミュニケーション能力を育む授業を

ポイント
1

外国語科の目標をつなぐ指導計画を！



- 小中高における外国語科の目標をつなぐための全体指導計画の見直しを！
- 発達段階に応じたスモールステップの指導の充実を図るための指導計画の作成を！
- (例) 「理解」「習熟」「活用」などの学習段階を各校種で工夫し、指導方法の工夫改善を！

ポイント
2

4技能を総合的に育成する指導の充実を！

【1単位時間の授業展開例～中学校】

(例) 指導上の留意点	
導入	<p>本時のねらいを明確にする</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ この時間に何ができればよいのかを生徒にしっかり理解させる。 ○ 本時及び単元の学習内容の見通しをもたせ、学習への関心・意欲を高める。
展開	<p>4技能を総合的に育成するための言語活動を工夫する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実際に必然性のある英語の使用場面を想定したコミュニケーション活動を行う。 ○ コミュニケーション活動を通して、基本的な語彙や文構造の理解を図る。 ○ 4技能を組み合わせた言語活動を通して、言語運用能力の向上を図る。
終末	<p>学習内容の振り返りをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時のねらいが達成されたか、どのような学びがあったかを振り返らせる。 ○ 次時の学習内容や学習活動につながる課題等を提示し、見通しをもたせる。

ポイント 3

「言語の使用場面」や「言語の働き」を意識した言語活動を！



言語の使用場面	
○特有の表現 ・あいさつ ・自己紹介 ・買い物 ・食事 ・道案内	○身近な暮らし ・家庭での生活 ・学校での学習や活動 ・地域の行事 ・子どもの遊び (小学校のみ) など
コミュニケーションの働き	
○相手との関係を円滑にする ○気持ちを伝える ○事実を伝える ○考えや意図を伝える ○相手の行動を促す など	

言語の使用場面	
○特有の表現 ・電話での応答 ・旅行	○身近な暮らし ・小学校と同じ
言語の働き	
○コミュニケーションを円滑にする ○気持ちを伝える ○情報を伝える ○考えや意図を伝える ○相手の行動を促す など	

言語の使用場面	
○特有の表現 ・手紙や電子メールでのやりとり	○身近な暮らし ・社会での暮らし ・小中学校と同じ ・職場での活動
○多様な手段を用いて情報などを得る など	
言語の働き	
○コミュニケーションを円滑にする ○気持ちを伝える ○情報を伝える ○考えや意図を伝える ○相手の行動を促す など	

ポイント 4

文字指導も系統性をもって、意図的・計画的に！



アルファベットなどを書き写す → 初歩的な英文で → まとまりのある内容で

【指導改善のポイント】

- アルファベットにはいろいろな使われ方があることに気付かせる指導の充実を！
- 音と綴りの関係に気付かせる指導の充実を！
- 音声言語と文字言語をつなぐ指導の充実を！
- 自分の思いや考えを文字で表現して伝える指導の充実を！
- 言葉の面白さや豊かさに気付かせる指導の充実を！